

B工区地質記載シート

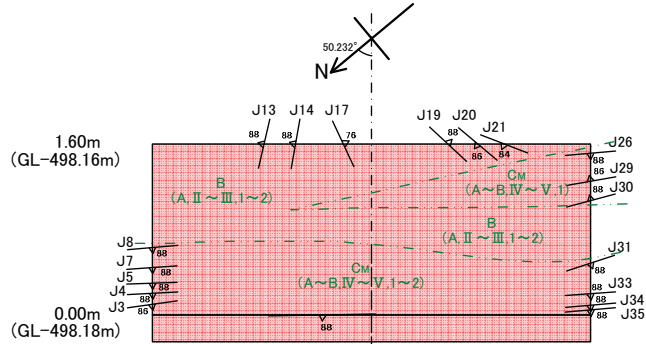
番号: B5-請負-計測工(地質)- 00062

シート番号	319	日時	2013/8/6 18:35~20:00	位置・深度	500ACS_STB_ST1 G.L.-496.11~ -499.68m 0.00~1.60m	観察・撮影者	
-------	-----	----	-------------------------	-------	---	--------	--

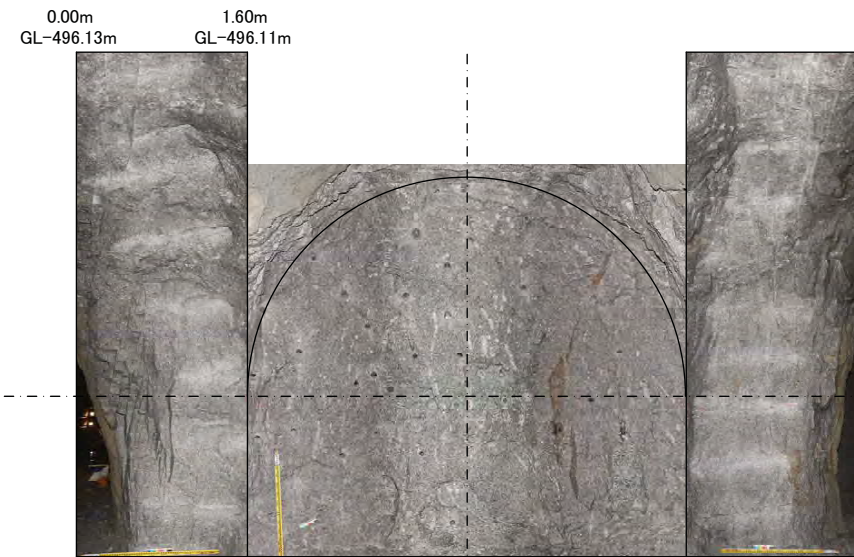
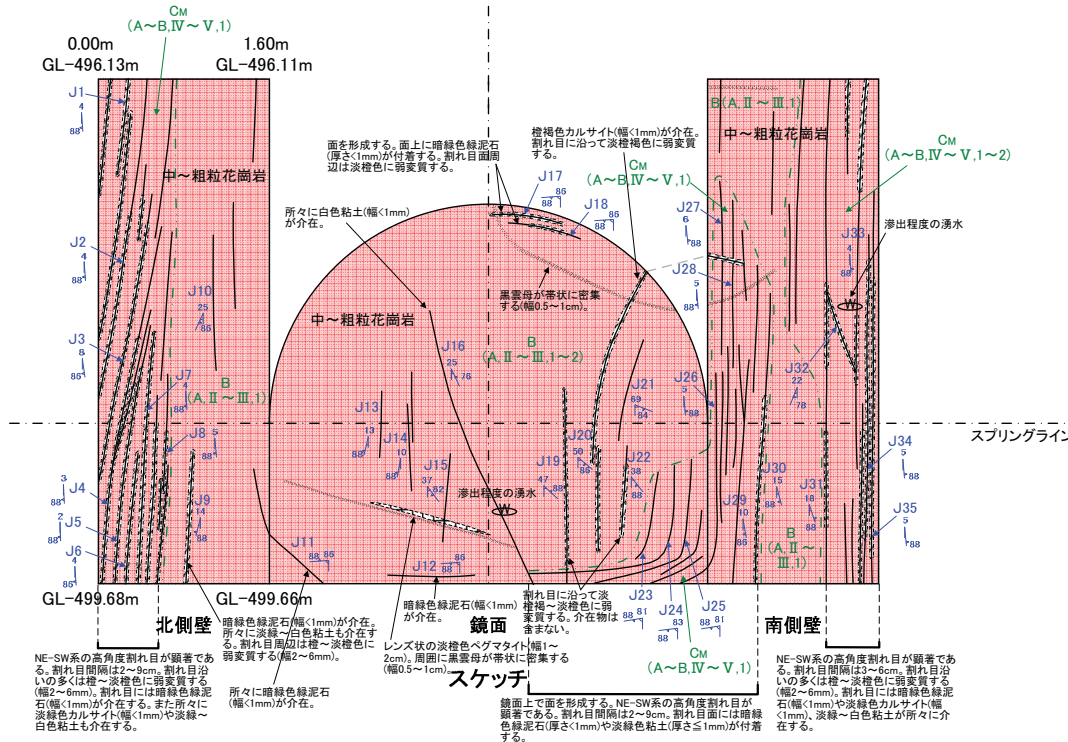
- 凡例
- 花崗岩
 - 割れ目の傾斜・計測角
 - 黒雲母密集部
 - 割れ目
 - 岩級区分境界
 - ベグマタイト脈
 - 湧水
 - 変質部

総括監督員	主任監督員	監督員

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



スライス断面図(スプリングラインGL-498.16m)



可視画像



岩種	花崗岩	風化	α (新鮮)	RMR値	-496.11~-499.68m 59
		変質	1(非変質)、2(弱変質)	岩石試料番号	なし
岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	湧水	乾燥、滲出	採水試料番号	なし
		電研式岩級	-496.11~-499.68m CM (A~B,IV~V,1~2) -496.11~-499.68m B (A,II~III,1~2)		

特記事項

- 中～粗粒花崗岩(灰白色)：等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしほれば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。鏡面の上部および下部に黒雲母の帯状密集部(幅0.5~1cm)が認められる。また鏡面下部の黒雲母帯状密集部の一部にレンズ状の淡褐色ベグマタイト(幅1~2cm)が認められる。
- ハンマーでの打撃音は全体に金属音~少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。変質は南北両側壁面の割れ目密集部(J1~J9, J30~J35)および鏡面の一部の割れ目(J19, J20, J22)で、割れ目に沿って橙~淡褐色の弱変質を伴う箇所が認められる。変質幅は割れ目に沿って2~6mm程度である。南北両側壁面および鏡面南側壁の割れ目密集部は割れ目間隔が2~9cmであり、岩盤は比較的堅硬であるため岩盤等級はCM級である。それ以外の箇所は割れ目間隔が30~100cmであり岩盤は比較的堅硬であるため岩盤等級はB級である。
- 主な割れ目として35条を抽出した。北側壁および南側壁の割れ目密集部はNE-SW系の高角度割れ目が顕著である。また鏡面上にはNW-SE方向の割れ目(J19~J21等)も認められる。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)や淡緑色、橙褐色カルサイト(幅<1mm)、淡緑~白色粘土(幅<1mm)である。介在物の無い割れ目も認められた(J34, J35等)。
- J16, J33の割れ目の一部から滲出程度の湧水が認められる。その他の壁面は乾燥し湧水は認められない。
- 当箇所はアクセス南設備横溝であり、進行する方向はおおよそS50°Eである。観察は鏡面上から2m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

番号: B5-請負-計測工(地質)- 00063

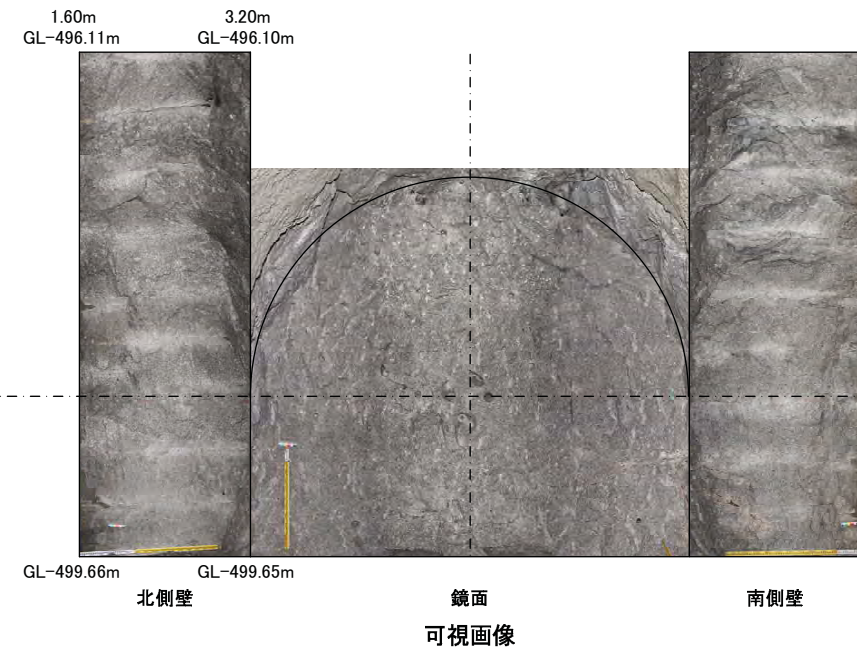
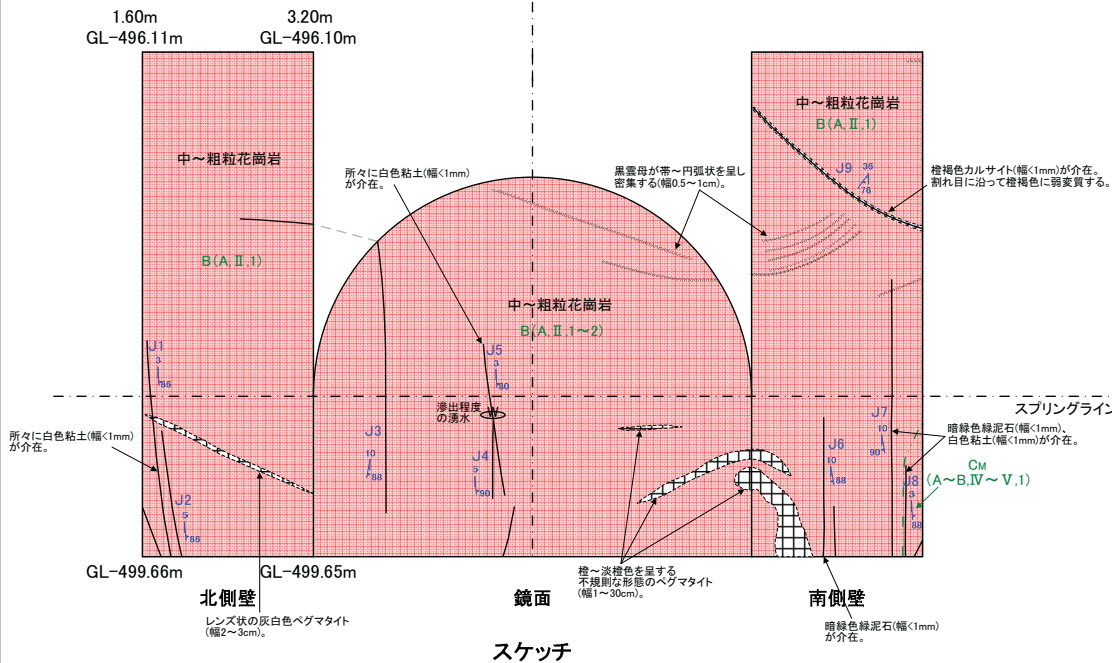
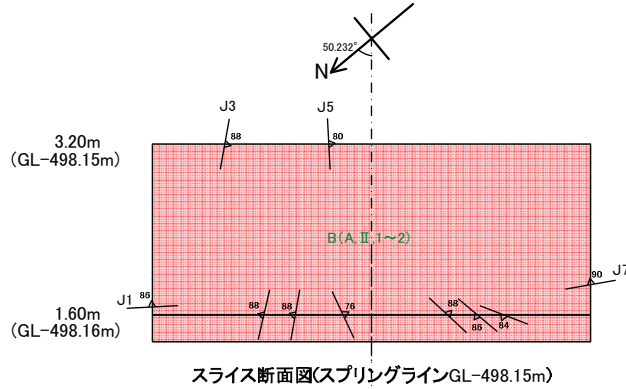
シート番号	320	日時	2013/8/8 14:40~15:40	位置・深度	500ACS_STB_ST2 G.L.-496.10~499.66m 1.60~3.20m	観察・撮影者	
-------	-----	----	-------------------------	-------	---	--------	--

凡例

: 花崗岩	: 割れ目	: 湧水
: 割れ目の傾斜・計測角	: 岩級区分境界	: 変質部
: 黒雲母密集部	: ベグマタイト脈	

総括監督員	主任監督員	監督員

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-496.10~-499.66m 84	
	岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	変質	1(非変質) (一部2(弱変質)を含む)	岩石試料番号	なし
湧水		乾燥、滲出	電研式岩級	-497.90~-499.66m CM (A~B.IV~V.1) -496.10~-499.66m B (A.II.1~2)	採水試料番号	なし

特記事項

- 中～粗粒花崗岩(灰白色)：等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。壁面全体の下半側にレンズ状または不規則な形態の灰白色、橙～淡褐色のベグマタイトが認められる(幅2~30cm)。また上半側には帯～円弧状の黒雲母密集部(幅0.5~1cm)も認められる。
- ハンマーでの打撃音は全体に金属音～少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。変質はJ9の割れ目に沿って橙褐色の弱変質を伴う。変質幅は割れ目に沿って0.5~1cm程度である。南側壁の西側下端には前回の壁面からの続きで割れ目間隔15cm程度、比較的堅硬なCM級岩盤が位置する。それ以外の箇所は割れ目間隔が60~100cmであり岩盤は比較的堅硬であるため岩盤等級はB級である。
- 主な割れ目として9条を抽出した。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)や白色、淡緑色粘土(幅<1mm)、橙褐色カルサイト(幅<1mm)である。介在物の無い割れ目も認められた(J2~J4)。
- J5の割れ目の一部から滲出程度の湧水が認められる。その他の壁面は乾燥し湧水は認められない。
- 当箇所はアクセス南設備機坑であり、進行する方向はおおよそS50°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

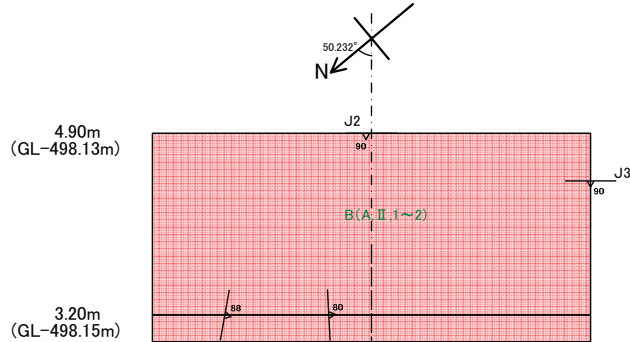
番号: B5-請負-計測工(地質)- 00064

シート番号	321	日時	2013/8/20 15:35~17:05	位置・深度	500ACS_STB_ST3 G.L-496.08~499.65m 3.20~4.90m	観察・撮影者	
-------	-----	----	--------------------------	-------	--	--------	--

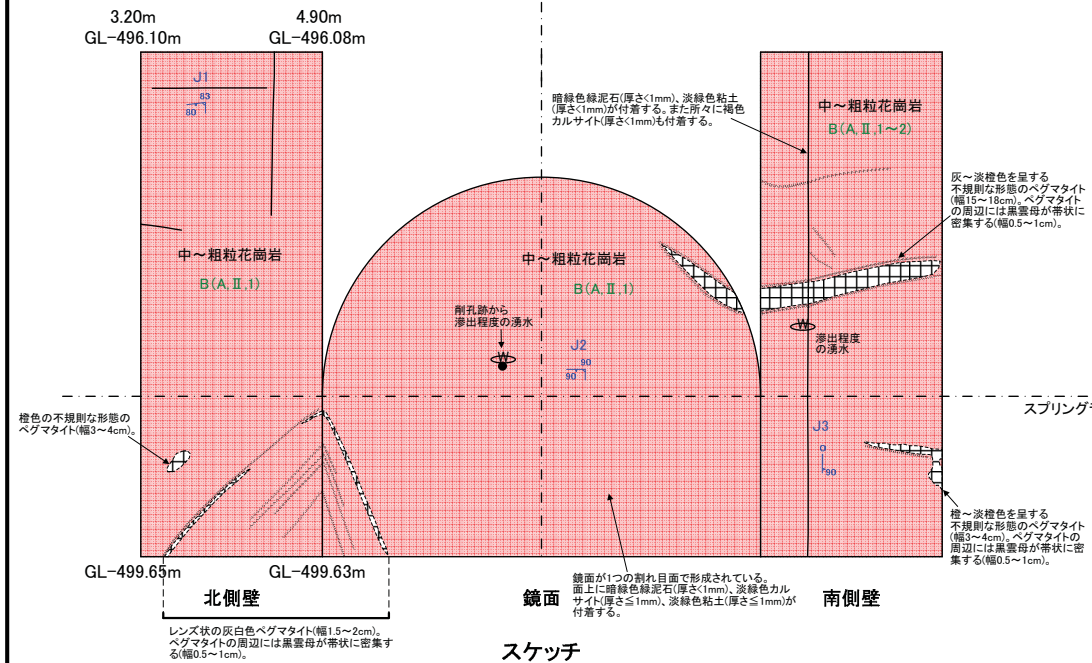
凡例	●: 湧水
■: 花崗岩	○: 割れ目
▲: 割れ目の傾斜・計測角	○: 岩級区分境界
▲: 黒雲母密集部	○: ベグマタイト脈

総括監督員	主任監督員	監督員

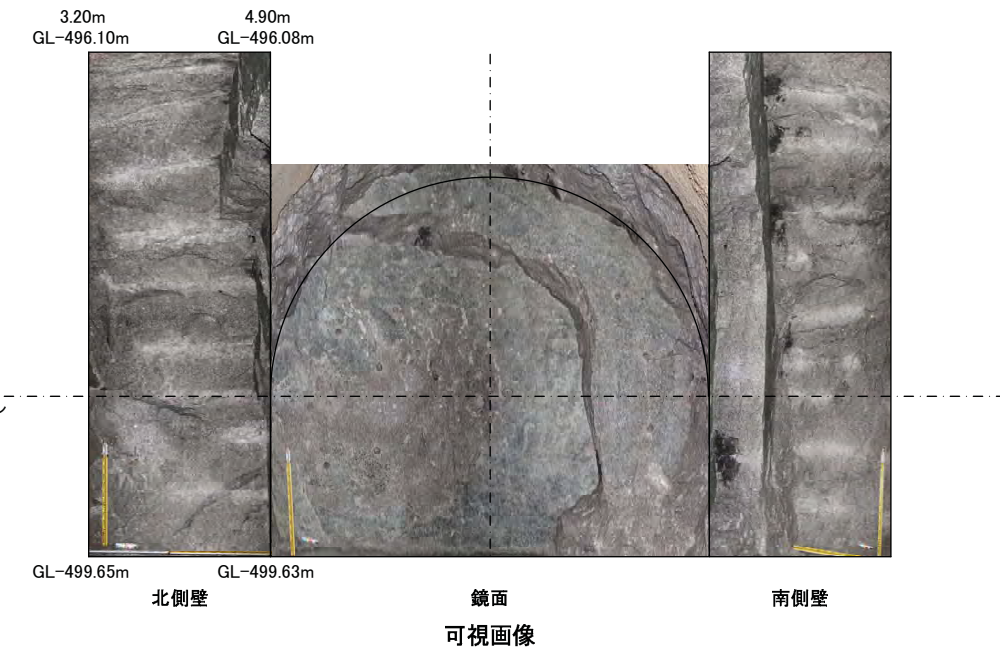
請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



スライス断面図(スプリングラインGL-498.13m)



スケッチ



可視画像

岩種	花崗岩	風化	α (新鮮)	RMR値	-496.08 ~ -499.65m 75	特記事項 <ul style="list-style-type: none"> 中～粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。北側壁から鏡面にかけたの下半部および南側壁にレンズ状または不規則な形態のベグマタイト(幅1.5~18cm、橙~淡褐色、灰白色)が認められる。またベグマタイト周辺には帯状の黒雲母密集部(幅0.5~1cm)も認められる。 ハンマーでの打撃音は全体に金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬である。変質は認められず壁面全体の岩石は概ね新鮮である。壁面全体に割れ目が少なく堅硬であるため岩盤等級はB級である。 主な割れ目として3条を抽出した。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)や淡緑色粘土(幅<1mm)、淡緑色、褐色カルサイト(幅<1mm)である。介在物の無い割れ目も認められた(J1)。なお、鏡面は1つの割れ目面で形成されていた(J2)。 J3の割れ目の一部から滲出程度の湧水が認められる。また鏡面上の割れ跡からも滲出程度の湧水が認められる。その他の壁面は乾燥し湧水は認められない。 当箇所はアクセス南設備機坑であり、進行する方向はおおよそS50°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。 	
	岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	変質	1(非変質)	岩石試料番号		なし
		湧水	乾燥、滲出	電研式岩級	-496.08 ~ -499.65m B (A, II, 1~2)		採水試料番号

B工区地質記載シート

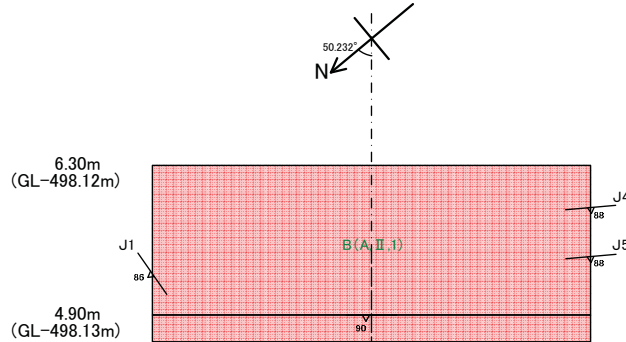
番号: B5-請負-計測工(地質)- 00065

シート番号	322	日時	2013/8/22 16:25~17:40	位置・深度	500ACS_STB_ST4 G.L-496.07~499.63m 4.90~6.30m	観察・撮影者	
-------	-----	----	--------------------------	-------	--	--------	--

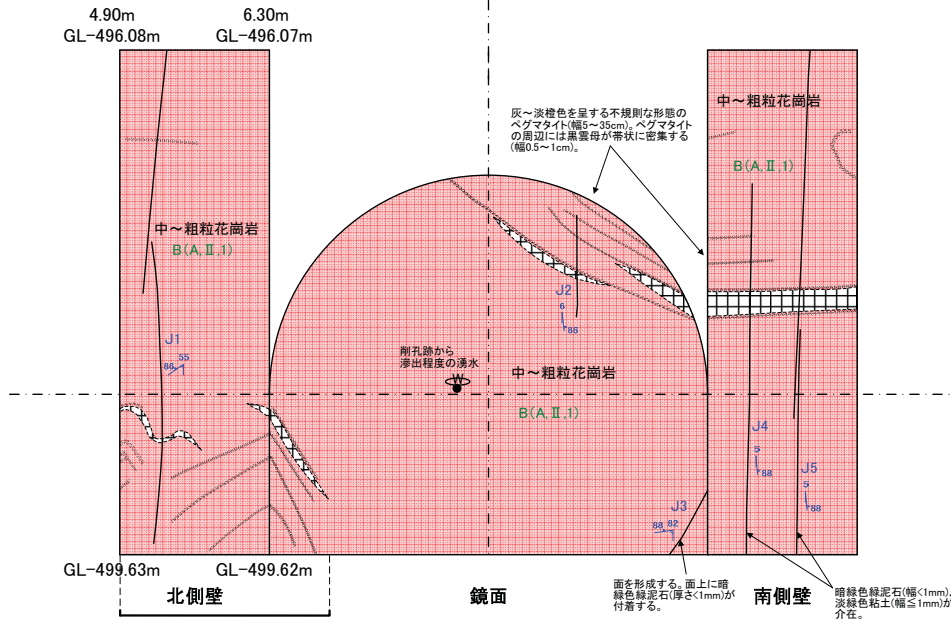
凡例			
: 花崗岩	: 割れ目	: 湧水	
: 割れ目の傾斜・計測角	: 岩級区分境界	: 削孔跡	
: 黒雲母密集部	: ベグマタイト脈		

総括監督員	主任監督員	監督員

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人

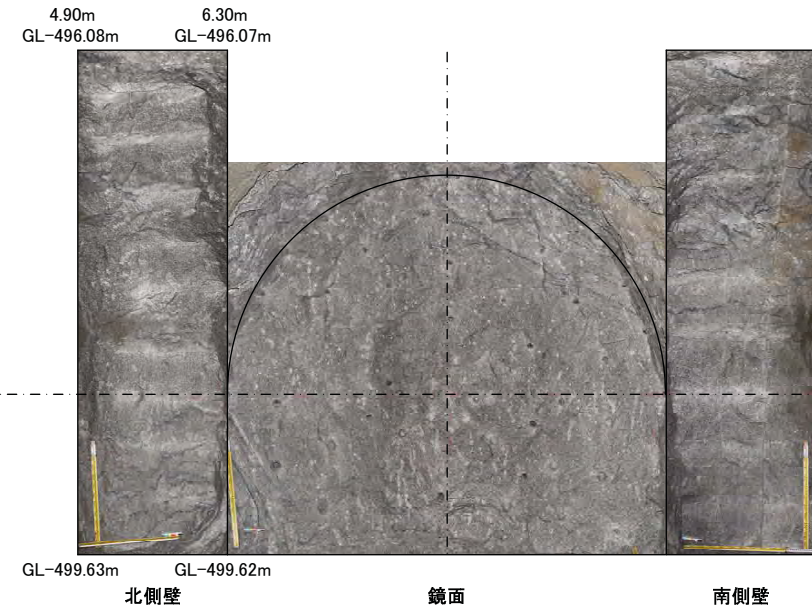


スライス断面図(スプリングラインGL-498.12m)



鏡面

スケッチ



鏡面
可視画像



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-496.07~499.63m 85
岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	変質	1(非変質)	岩石試料番号	なし
		湧水	乾燥	電研式岩級	-496.07~499.63m B (A, II, 1)
		電研式岩級	-496.07~499.63m B (A, II, 1)	採水試料番号	なし

特記事項

- 中～粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。北側下半および南側上半の壁面に不規則な形態のベグマタイト(幅1~35cm、橙色、灰~淡橙色等)が認められる。またベグマタイト周辺には帯状の黒雲母密集部(幅0.5~1cm)も認められる。
- ハンマーでの打撃音は全体に金属音~少し濁った音であり、岩盤は堅硬である。変質は認められず壁面全体の岩石は概ね新鮮である。壁面全体に割れ目が少なく堅硬であるため岩盤等級はB級である。
- 主な割れ目として5条を抽出した。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)や淡緑色粘土(幅<1mm)である。介在物の無い割れ目も認められた(J1、J2)。
- 鏡面上の削孔跡から滲出程度の湧水が認められる。その他の壁面は乾燥し湧水は認められない。
- 当箇所はアクセス南設備横坑であり、進行する方向はおおよそS50°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

番号:B5-請負-計測工(地質)- 00066

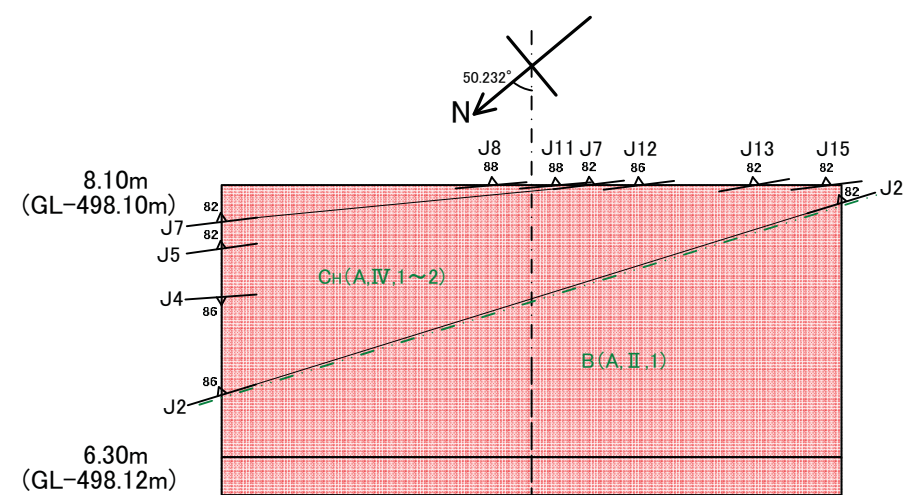
シート番号	323	日時	2013/8/24 15:20~16:55	位置・深度	500ACS.STB.ST5 G.L.-496.05~-499.62m 6.30~8.10m	観察・撮影者	
-------	-----	----	--------------------------	-------	--	--------	--

凡例

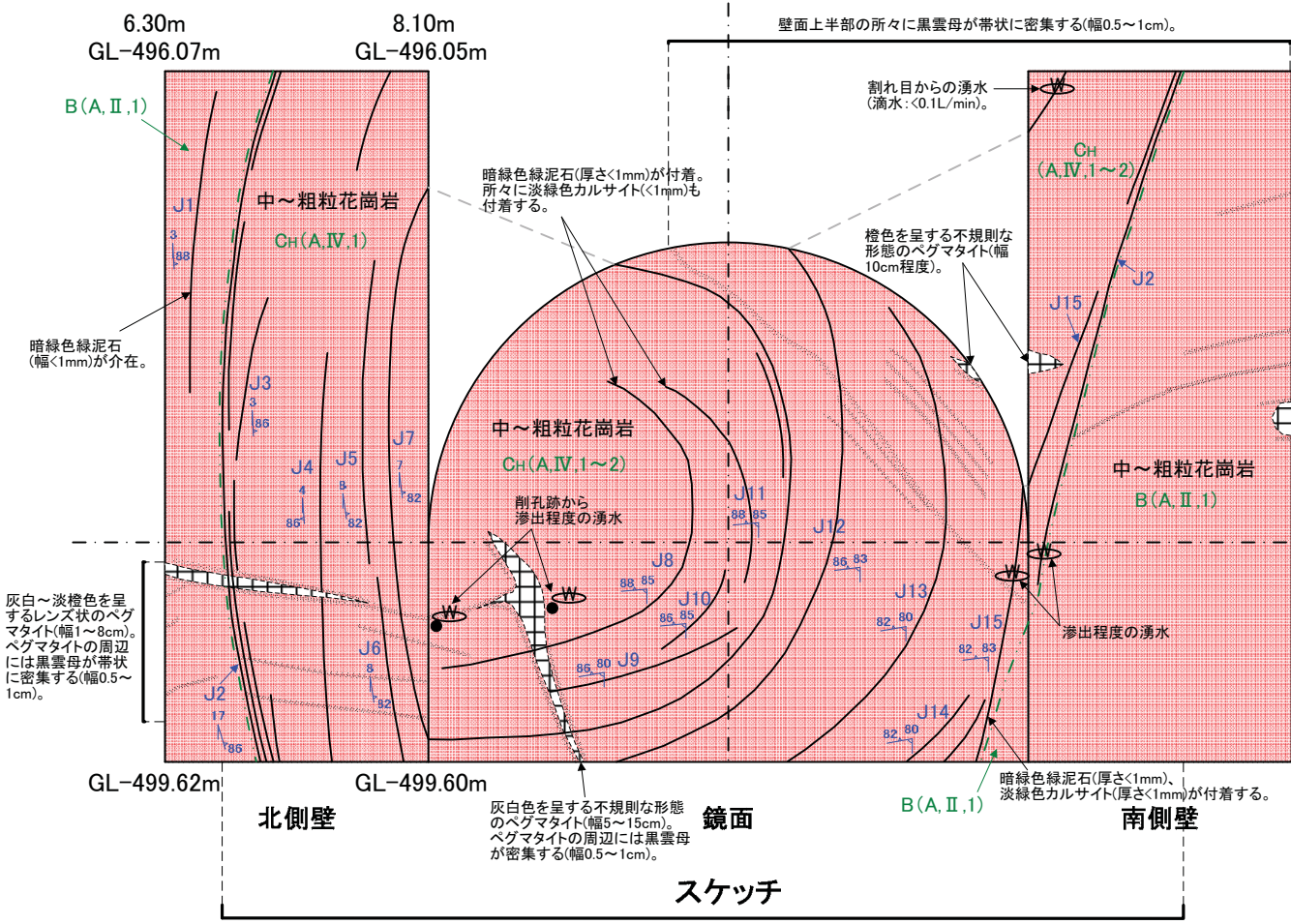
: 花崗岩	: 割れ目	: 湧水
: 割れ目の傾斜・計測角	: 岩級区分境界	: 削孔跡
: 黒雲母密集部	: ベグマタイト脈	

総括監督員	主任監督員	監督員

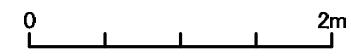
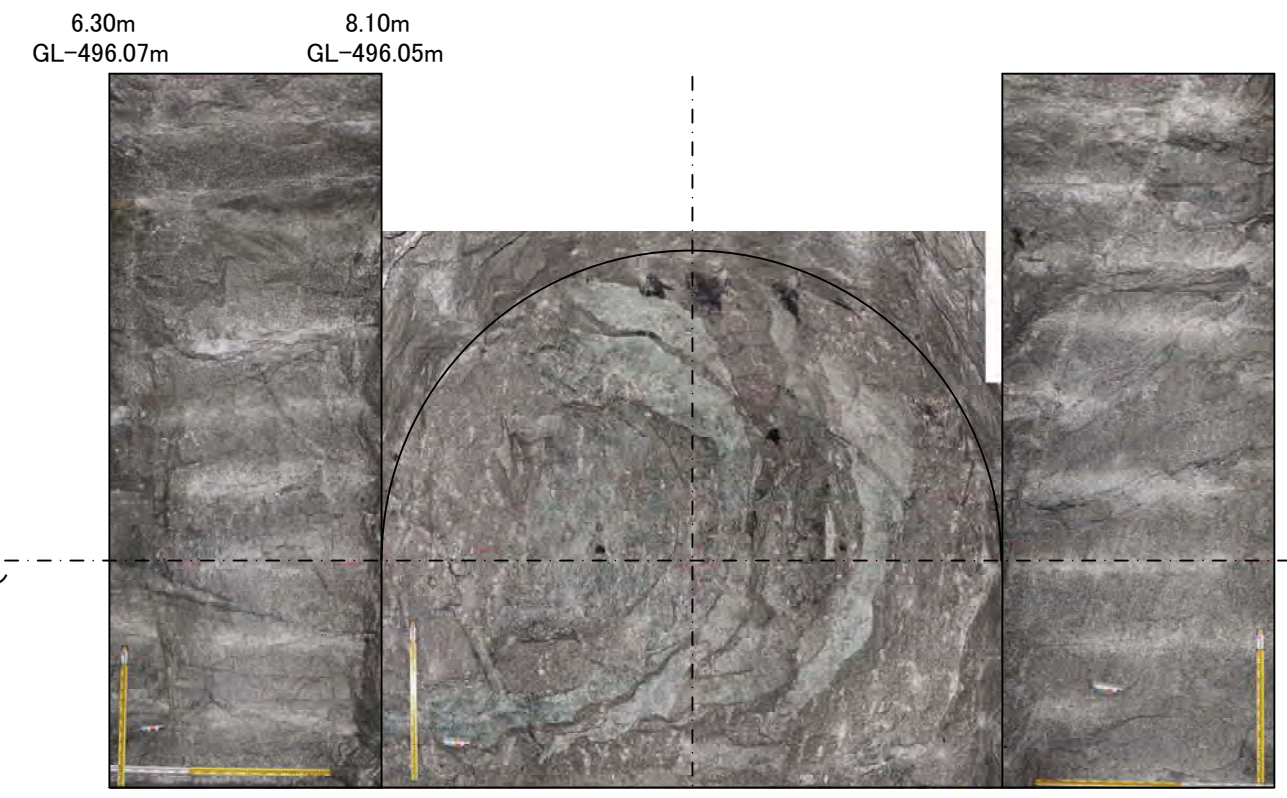
請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



スライス断面図(スプリングラインGL-498.10m)



NE-SW系の高角度割れ目が卓越する。割れ目間隔は5~10cm。鏡面上で面を形成する。割れ目面には暗緑色緑泥石(厚さ<1mm)、淡緑色カルサイト(厚さ<1mm)が付着する。また所々に淡緑色粘土(厚さ<1mm)も付着する。



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-496.05~-499.62m 51
		変質	1(非変質)		
岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	湧水	乾燥、滲出、滴水	岩石試料番号	なし
		電研式岩級	-496.05~-499.62m CH (A.IV.1~2) -496.05~-499.62m B (A.II.1)	採水試料番号	なし

特記事項

- 中～粗粒花崗岩(灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。壁面上の下半北東側および上半南東側にレンズ状や不規則な形態のベグマタイト(幅1~15cm、橙色、灰白~淡橙色等)、帯状の黒雲母密集部(幅0.5~1cm)が認められる。
- ハンマーでの打撃音は全体に金属音~少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。変質は認められず壁面全体の岩石は概ね新鮮である。北側壁および南側壁の西側の壁面は割れ目が少なく堅硬であるB級岩盤が認められる。それ以外の箇所は割れ目間隔が5~10cmであり、岩盤は比較的堅硬であるため岩盤等級はCH級である。
- 主な割れ目として15条を抽出した。全体にNE-SW系の高角度割れ目が卓越する。特に割れ目は鏡面上で数枚に重なり合う面を形成する。割れ目面の介在物は主に暗緑色緑泥石(厚さ<1mm)や淡緑色カルサイト(厚さ<1mm)である。また所々に淡緑色粘土(幅<1mm)も介在する。
- J12の割れ目は天端の一部から滴水(<0.1L/min)が認められる。またJ2およびJ15は鏡面と南側壁の境界付近の割れ目の一部から滲出程度の湧水が認められる。鏡面上の削孔跡からも滲出程度の湧水が認められる。その他の壁面は乾燥し湧水は認められない。
- 当箇所はアクセス南設備横坑であり、進行する方向はおおよそS50°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。

B工区地質記載シート

番号: B5-請負-計測工(地質)- 00067

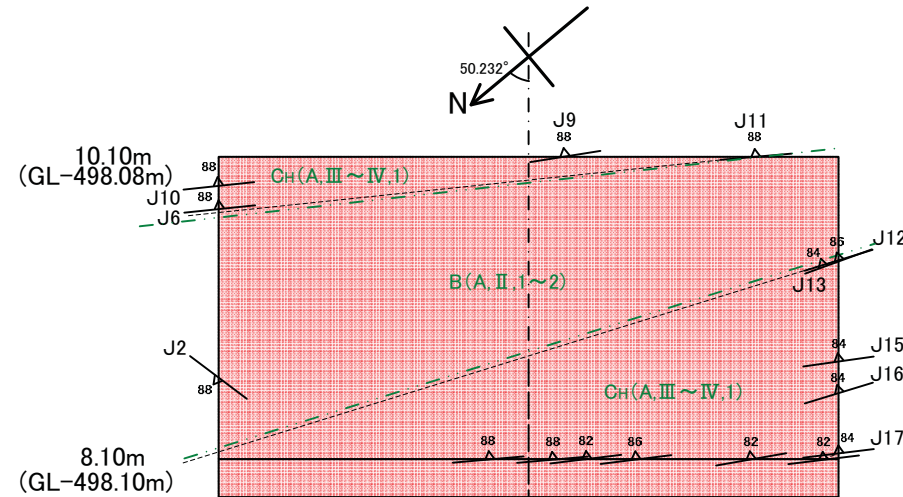
シート番号	324	日時	2013/8/27 15:50~17:50	位置・深度	500ACS.STB.ST6 G.L.-496.03~-499.60m 8.10~10.10m	観察・撮影者	
-------	-----	----	--------------------------	-------	---	--------	--

凡例

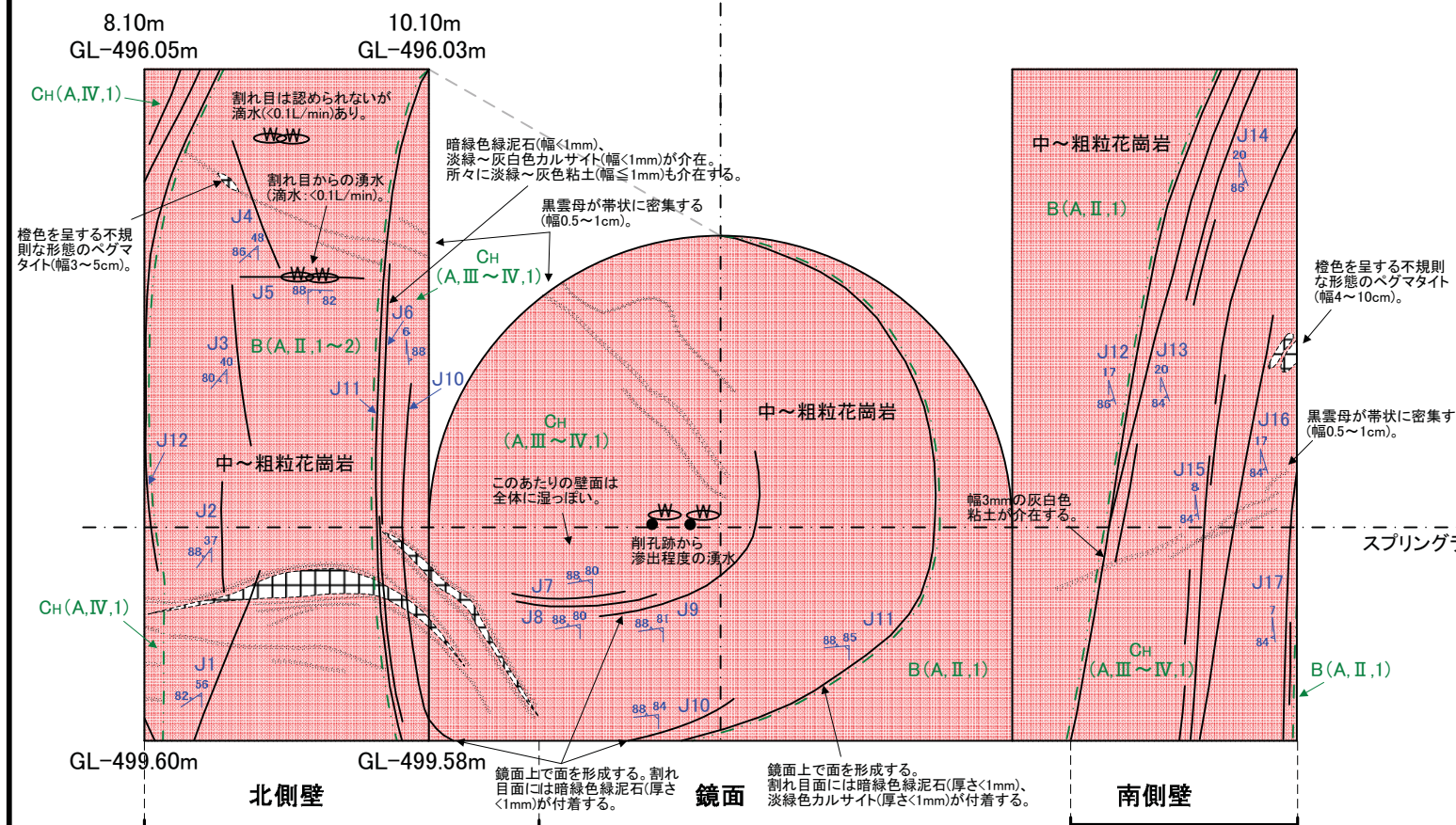
: 花崗岩	: 割れ目	: 湧水
: 割れ目の傾斜・計測角	: 岩級区分境界	: 削孔跡
: 黒雲母密集部	: ベグマタイト脈	

総括監督員	主任監督員	監督員

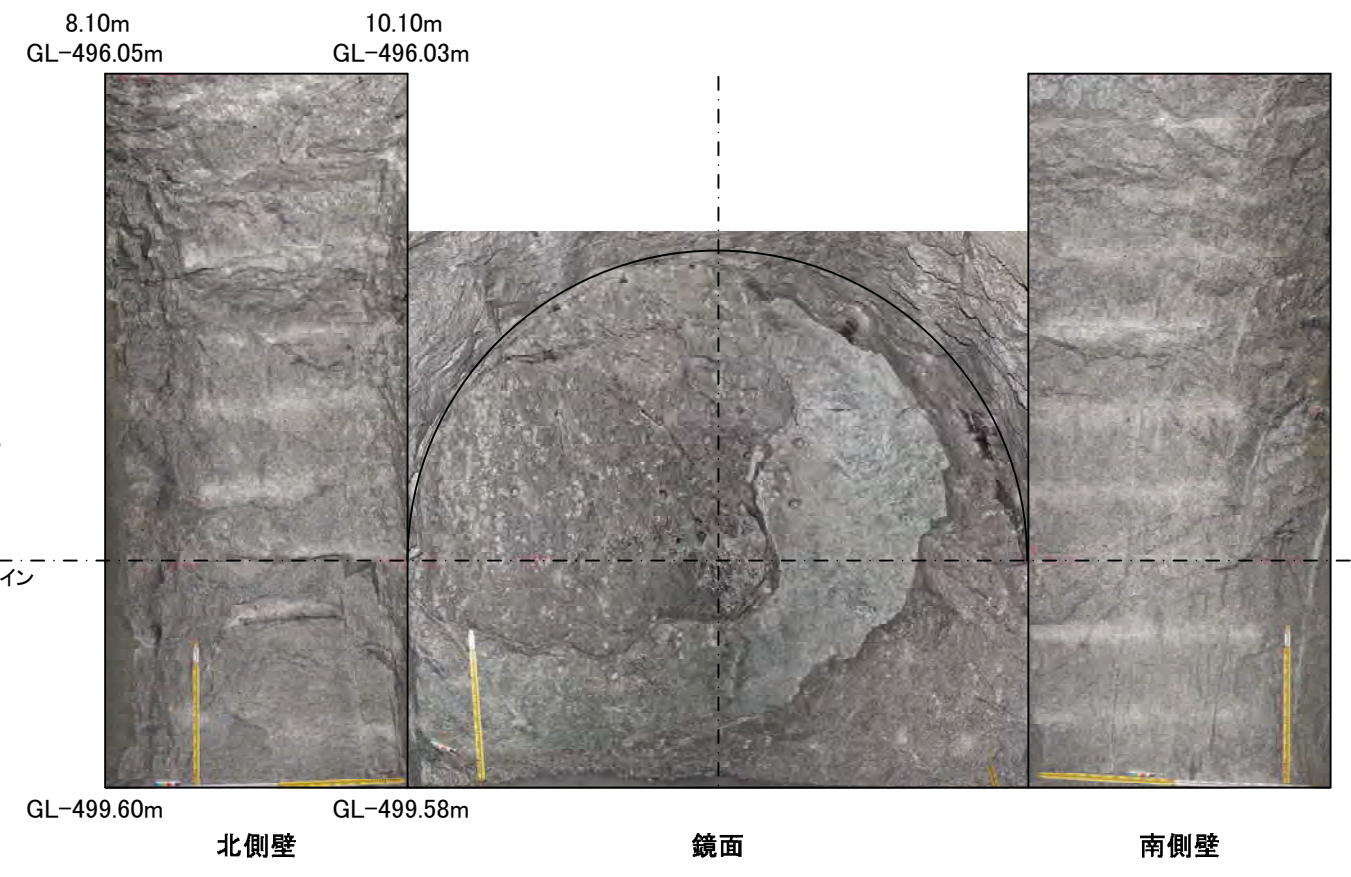
請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体
現場代理人



スライス断面図(スプリングラインGL-498.08m)



スケッチ



可視画像



岩種	花崗岩	風化	α (新鮮)	RMR値	-496.03~-499.60m 59
		変質	1(非変質)		
岩相	中～粗粒花崗岩(灰白色)	湧水	乾燥、滲出、滴水	岩石試料番号	なし
		電研式岩級	-496.03~-499.60m CH (A, III~IV, 1) -496.03~-499.60m B (A, II, 1~2)		

特記事項

- 中～粗粒花崗岩(灰白色)：等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。北側壁から鏡面にかけた下半側に灰白~淡橙色を呈する不規則な形態のベグマタイト(幅3~15cm)が顕著に認められる。またベグマタイトの周りやそれ以外の壁面上に帯状を呈する黒雲母の密集部(幅0.5~2cm)が認められる。
- ハンマーでの打撃音は全体に金属音~少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。変質は認められず壁面全体の岩石は概ね新鮮である。北側壁および鏡面から南側壁の境界付近の壁面は割れ目が少なく堅硬であるため岩盤等級はB級である。それ以外の鏡面や南側壁では割れ目間隔が5~30cmであり、岩盤は比較的堅硬であるため岩盤等級はCH級である。
- 主な割れ目として17条を抽出した。CH級岩盤領域の割れ目は全体にNE-SW系の高角度割れ目が卓越する。割れ目の介在物は主に暗緑色緑泥石(幅<1mm)や淡緑~灰白色カルサイト(幅<1mm)である。また所々に淡緑~灰色粘土(幅<1mm、一部幅3mmの箇所あり)も介在する。介在物の無い割れ目も認められた(J1~J5、J7、J8)。
- J5の割れ目の一部から滴水(<0.1L/min)が認められる。また北側壁の天端付近からも割れ目は認められないが滴水(<0.1L/min)が認められる。鏡面北側中央部の壁面は全体に湿っぽい。鏡面中央の削孔跡から滲出程度の湧水が認められる。その他の壁面は乾燥し湧水は認められない。
- 当箇所はアクセス南設備横坑であり、進行する方向はおおよそS50°Eである。観察は鏡面から2m離れた場所より目視観察で実施した。